



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ
東北こそだてレター (被災地の今...)

2015/01/27 配信 vol.29

～ 全国的な母子支援が少子化を防ぐ ～

◆ 支援実績 (2014/12/31 現在)

<支援母子数>

- ・2014年12月計 713組
- ・プロジェクト開始より累計 19,175組 (2012/7～2014/12)

<活動場所>

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亶理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

<活動内容>

育児相談会/茶話会/ベビーマッサージ/ベビ体操/
ママのリフレッシュ体操/親子ピクス/仮設巡回訪問

みなさま、こんにちは。一般社団法人ジェスパールです。

この前の1月17日で阪神大震災から20年になりました。

テレビでは追悼行事が流れていますが、印象的だったのが、被害の大きかった地域で育った20歳の方のスピーチ。東北で16年後健やかに育った20歳の方のスピーチが聴けるようサポートし続けなければなりませんね。

さて、今回も、代表の宗のコラムと、広報からの文章をご覧ください。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ 産後を支える人材の養成の必要性 (社)ドゥーラ協会の役割
(ジェスパール代表 宗祥子)

◇◆二つの協会の成り立ち

(社)ジェスパールの代表 宗が、震災直後強く感じたのは、津波に流された地方や原発の影響で自宅を転居した方々の中に必ず妊婦や小さい子どもを育てている方がいるということでした。

その方々を何とか東京から助ける手段はないものかと考え、本会の前身である「東京里帰りプロジェクト」
<http://www.satogaeri.org/>を立ち上げました。
被災地から避難してくる妊産婦さんたちをサポートするプロジェクトです。

2012年6月に東京里帰りプロジェクトは終了となり、その活動を引き継ぐ形で、本会ジェスパールを立ち上げました。

その中で一貫して考えていることは、妊娠産後の時期にサポートしてくれる存在の必要性です。その存在は被災地域・被災地域以外を問わずとても必要です。

被災地であっても、東京のような都会であっても、妊娠中や産後直後のお母さんたちの中には、今までと異なる身体の状態や、慣れない子育てに戸惑っている方々が数多くいらっしゃいます。



しかし、必ずしも一昔前のように実家で安心して世話をしてもらえる状況ではありません。

東京を例にとると、妊娠出産しても実家が遠い、実の母親が高齢化していたり、上の世代の介護を抱えているなどの事情で、産後直後に世話をしてもらえないという方はたくさんいらっしゃいます。

また、地域の中でも、産後直後の母親の世話を担える方がいるわけではありません。

そういった状況を目のあたりにして、産後の方を専門的にお世話できる人材の養成をしたいと(社)ドゥーラ協会を立ち上げました。

立ち上げ準備は震災以前から行っていましたが、震災の年に東京里帰りプロジェクトを実施したことで、その準備は一時中断いたしました。

そのため、奇しくもジェスペールとドゥーラ協会の発足は2012年3月5日と、同日になりました。

◆◆ドゥーラとは

ドゥーラの語源は、ギリシャ語で「他の女性を支援する経験豊かな女性」という意味です。海外では、日本のように出産の介助をする助産師が少なく、出産する時も一人で耐えるということが多かったため、出産経験のある知人やボランティアが出産時に寄り添いました。それが、「ドゥーラ」の始まりです。

現在欧米では、このような出産ドゥーラや産後も継続して支援する産後ドゥーラが活躍しています。職業としても確立された存在です。

◆◆日本でもドゥーラの必要性が

では、日本の産後事情はどうでしょうか？

産前産後の母親は、里帰り出産など実母や身近な親族を頼ることが多かったのですが、最近では、高齢出産が増え、前述のように支え手である実母も高齢化したり、祖父母の介護の時期と重なってしまったりして、親を頼ることが困難なケースが増えています。

加えて、近所付き合いが少ないため地域の助けを受けづらかったり、頼りの夫も仕事が忙しく帰宅も遅く、手伝ってもらえる状況ではないことから、産後直後から母体に無理がかかり、孤独な子育てを強いられるケースも多く見られるようになってきました。

◆◆産後の母親に必要なことは

「母親には母性本能があるのだから、子どもを産んだらすぐに子育てができる」と考えられることがありますが、出産後、母親自身が愛情と優しさを受け安心して状況になれば、子どもに愛情を注ぐことは難しいのです。

出産前後の母親に愛情と優しさを与えることで、母親が本当に母として独り立ちできるよう支える存在が必要です。

出産前後の女性の体がどのように変化するかを知り、適切に産前産後の過ごし方を伝え、出産後の体に優しい食事作りをするなど家事も担い、母親の健康と幸せを願い、本当に必要とされるサポートをする人。

そして、全てを受け止め支えてくれる実母のような存在。母親に寄り添い母親を支援する人、それが、ドゥーラです。

今、日本で、わたくしが発起人となり(社)ドゥーラ協会を設立し、産後ドゥーラの養成を行っています。現在約100名以上の方々がドゥーラとして各地で活躍しています。



◇◆被災地でもその他の地域でも

このドゥーラの存在が、出産直後のお母さんを支え、次の子を産みたいという気持ちをはぐくみます。現在新聞やテレビ雑誌でも取り上げられており、注目を集めています。

また行政や地方自治体の議員からも問い合わせが相次いでおり、必ずやこのドゥーラの存在が日本の少子化を食い止める歯止めになっていくと信じております。

同じくジェスペールも国内の妊産婦をサポートすることにより、女性が安心して出産及び子育てを行えるよう国民全体で支援する世の中の実現と、いつでもいつまでも子どもの笑い声が全国各地に響き渡る社会形成への貢献を目指しています。

被災地であってもそうでなくても、このドゥーラの存在はまさに妊産婦の方々を直接サポートする存在です。

これからも様々な形で妊産婦さんを支援し、この目的の実現に努力していきます。



◆ 西友/ウォルマートジャパンのレジ募金が終了します

西友/ウォルマートジャパン各店舗レジで行っている「東北こそだて募金」(以下「レジ募金」)が、2月15日(日)をもって終了することになりました。

レジ募金は2012年7月1日から始まり、今年2月15日まで約2年半の間実施されました。

集まった資金は、三県沿岸部を支援する助産師たちの団体(まんまる、こそだてシップ、おっぱい塾、ベビースマイル石巻、相馬助産所)のサロン支援及び広報費用に使われてきました。

最近では以前支援を受けた母親が次の赤ちゃんを産む事例も増えています。

各地のサロンでは新たな参加者を迎え入れながら、現在もジェスペール立ち上げ時と同じく相談や交流を続けています。

産後母子にとって落ち着くことができる場所があることがたいへん重要ですが、この役割を担っているのが助産師たちの団体です。

そして、この活動の源泉となったのが合同会社西友様からの助成金とレジ募金でした。

この支援を受けて母子支援活動を行った助産師たちは、NPO化したり、地域に根付くなど大きく成長しました。今後も被災地の母子支援活動を続けていく強い志を持っています。

日本社会では現在、女性に焦点が当てられ、産後支援の重要性にもやっと目が向けられるようになってきましたが、被災地での母子支援活動もその流れを促進したのではないかと思います。

被災地という限られた地域での支援活動から、社会全体での支援に至る成長の過程もレジ募金が支えてくれました。

この2年半の間に、レジ募金は13,834,105円集まりました。

西友様よりの助成金と合わせ、被災沿岸部の産後母子を延べ10,000組以上支援することができました。

これまでのレジ募金へのご協力に心より感謝申し上げますとともに、残り半月間もご支援いただきますよう宜しくお願いいたします。

◆ 厚生労働大臣から【東日本大震災被災者支援感謝状】を受賞しました

厚生労働大臣から【東日本大震災被災者支援感謝状】を2014年3月11日付けで受賞いたしました。

この賞状が、4月24日に届きました。地道に活動して来た成果を国からも認めて頂く事ができ、スタッフ一同とても嬉しく思っております。

現地はまだまだ状況は変わっていません。これからも、被災地の状況を、また被災地で支援活動を行っている助産師達の活動を支援して行きます。皆様のご協力を引き続きお願いいたします。



◆ プロジェクト応援のお願い

ジェスペールの「東北こそだてプロジェクト」は、被災地の母子を支援する助産師の活動を支援しています。

皆様からいただいた温かいご支援は活動の原動力となっています。

被災地の母子を今後も継続してサポートしていくため、妊産婦支援に関するお志を同じくするお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記サイトをご紹介ください。

<http://tohokumama.org/donation/>

また、皆様からの励ましのお声も、現地の助産師や被災地で子育て中のお母さん、ジェスペールメンバーの力になります。ご寄付いただく際に励ましのお言葉を添えていただいたり、当メールマガジンへのご感想などをお寄せください。



発行者： 一般社団法人ジェスペール

公式ホームページ：<http://tohokumama.org/>

Twitter：<https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先：info@tohokumama.org

Facebook：<http://www.facebook.com/tohokumama>

